

第9回愛知県国家戦略特別区域会議 愛知県提出資料

平成30年12月7日



今回、区域計画に追加予定の特定事業

■ 自家用有償観光旅客等運送事業

【日間賀島の特長】

- ・ 名古屋市から南にのびる知多半島の沖合に位置する人口約2,000人の島
- ・ 島付近で豊富にタコ・フグがとれることに着目し、「多幸の島、福の島」としてPR中
- ・ 旅館・民宿が約60軒、1日あたり約2,400人の収容能力がある愛知県最大の観光の島
- ・ 年間30万人ほどの観光客の訪問があり、特に夏季に集中する
- ・ 中部国際空港から最短40分ほどでアクセスでき、最近では外国人観光客も増加傾向

離島初!

【課題】

周囲約6kmと狭隘ながら東西に観光施設が集中し、徒歩による移動は困難である。また、島内には、バス・タクシー等の公共交通が一切ないため、中部地方の一大観光地でありながら、観光客にとって島内移動は大変不便なものである。

自家用有償観光旅客等運送事業の活用

【日間賀島の位置】



【事業効果】

中部国際空港から最短40分と利便性は高いが、交通事業者の参入が困難な離島において、自家用自動車を利用したより便利で快適な交通手段を観光客に提供することができる。

【実施概要】

- 運行主体 日間賀島観光協会
- 事業実施区域 愛知県 知多郡 南知多町 日間賀島地区
- 運行形態 循環路線型
- 使用する車両 自家用自動車（29人乗りマイクロバス）
- 対 価 1乗車 100円（小学生以上） ※障がい者及びその介護者は半額
【参考】海っ子バス（南知多町コミュニティバス） 1乗車 160円（小学生以下80円）
- 実施期間 各年7月下旬～8月（繁忙期のみ実施）※平成31年7月の事業開始を目指す。

【運行経路】

日間賀島は周囲6Kmの島で東西の里に分かれており、それぞれの里に港・宿泊施設・観光スポットが存在する。観光客が周遊する場合に不便さを感じることから、観光スポットを繋ぐ循環型の路線とする。



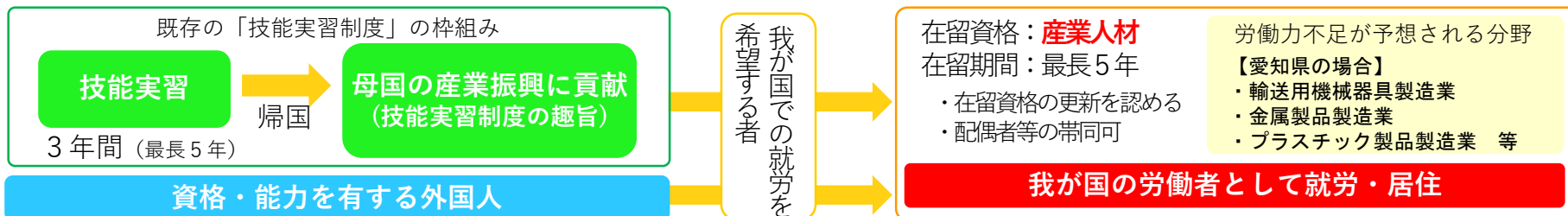
今後検討すべき主な規制改革事項(愛知県提案)

■ 国家戦略特区における産業人材の受入れ(「外国人雇用特区」)

平成27年11月提案

我が国で労働力が不足する分野において、一定の資格・能力を有する外国人を、新たな在留資格(「産業人材」)を設け、受入れを図る。

【新たな在留資格による受入れ(イメージ)】



■ 医療ツーリズムの推進

平成28年11月提案

海外からのニーズが高く、日本が国際的優位性を有する医療分野について、日本の医療を迅速に提供するため、できるだけ早期に治療が必要な外国人患者の医療滞在ビザ発給を迅速化。また、短期滞在ビザでの滞在中における、在留期間の延長や在留資格の変更を認める。



手術支援ロボット「ダ・ヴィンチ」(提供: 藤田医科大学病院)

■ 航空宇宙分野における海外認証を受けた通信機器の使用

平成30年12月提案

航空宇宙分野の無線通信システムの設計開発における調査・研究・試験において、海外で認証を受けている高性能な通信機器を使用する場合は、多大な費用と時間がかかる日本の技術基準適合証明(「技適」マーク)を取得しなくても、使用することを可能とする。



無人航空機(提供: PDエアロスペース(株))